

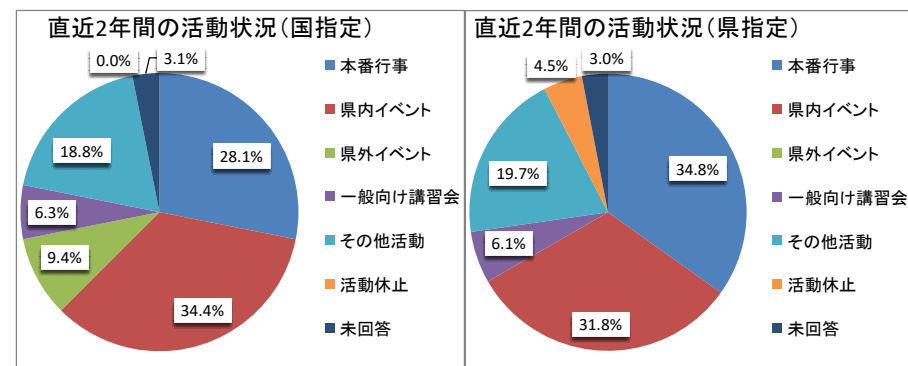
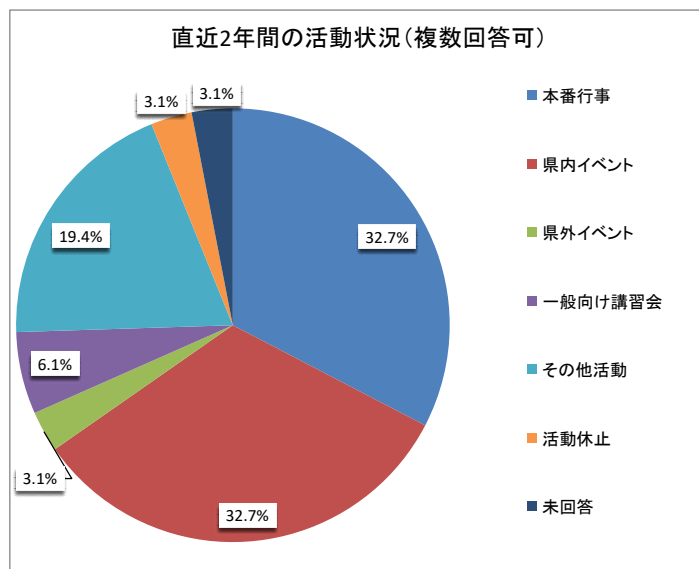
「あきたの文化」魅力再発見事業アンケート集計結果(抜粋)

○アンケート調査期間 令和3年5月6日～6月18日

○アンケート回収率: 国指定82.3%(14/17)、県指定63.8%(30/47)

1 直近2年間(令和元年度、令和2年度)の活動状況(複数回答可)

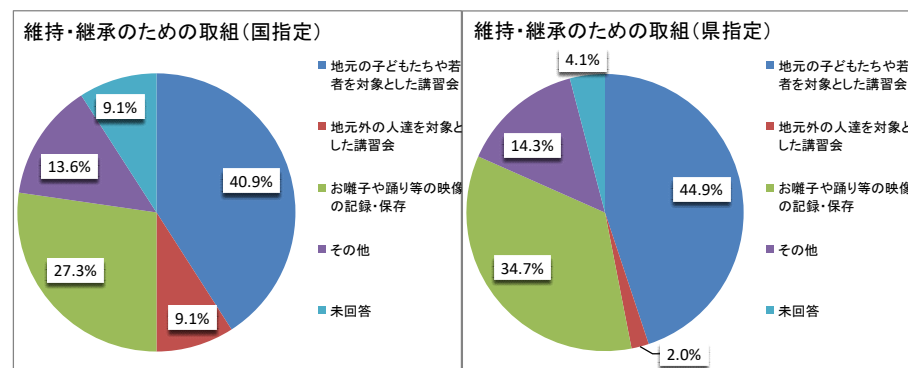
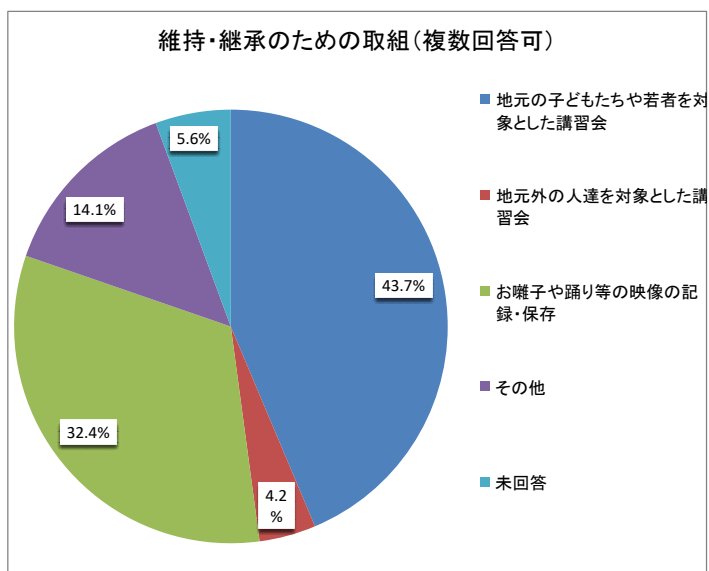
	計	うち国指定	うち県指定
本番行事	32	9	23
県内イベント	32	11	21
県外イベント	3	3	
一般向け講習会	6	2	4
その他活動	19	6	13
活動休止	3	0	3
未回答	3	1	2
合計	98	32	66



・本番行事については、対象が令和元年度、2年度となっているため、ほとんどの団体において活動実績は令和元年度であり、令和2年度はコロナの影響により中止となっている。

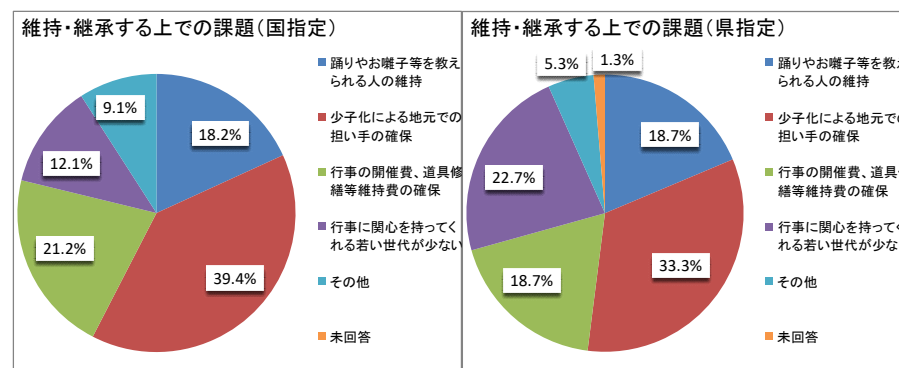
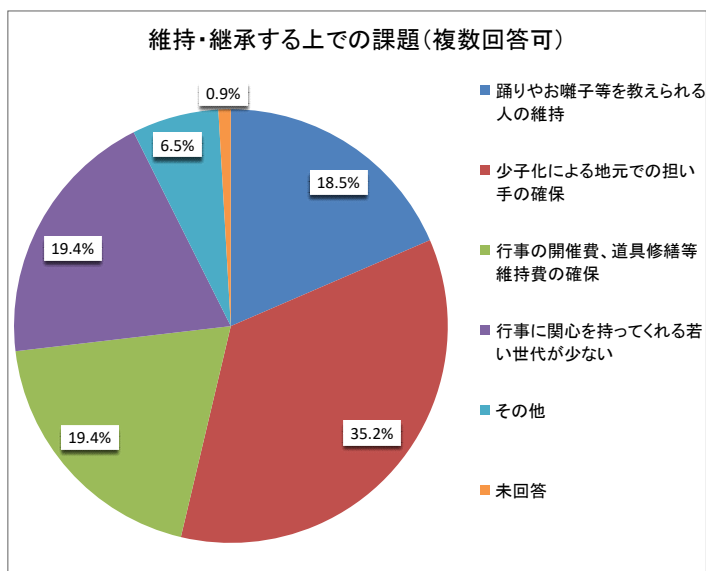
2 維持・継承のための取組(複数回答可)

	計	うち国指定	うち県指定
地元の子どもたちや若者を対象とした講習会	31	9	22
地元外の人達を対象とした講習会	3	2	1
お囃子や踊り等の映像の記録・保存	23	6	17
その他	10	3	7
未回答	4	2	2
合計	71	22	49



3 維持・継承する上での課題(複数回答可)

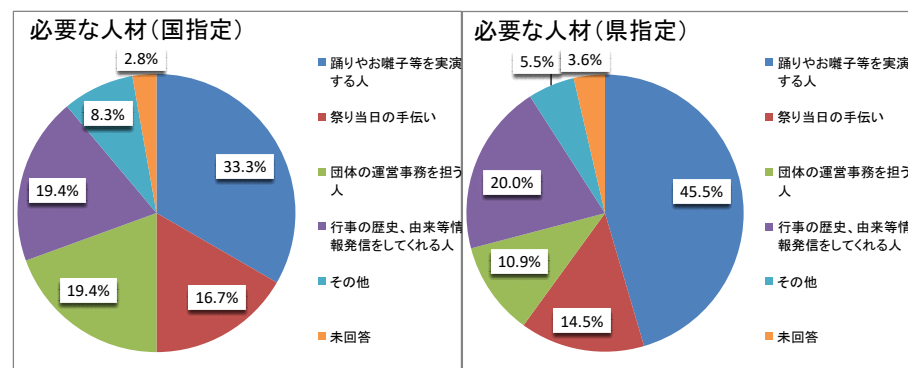
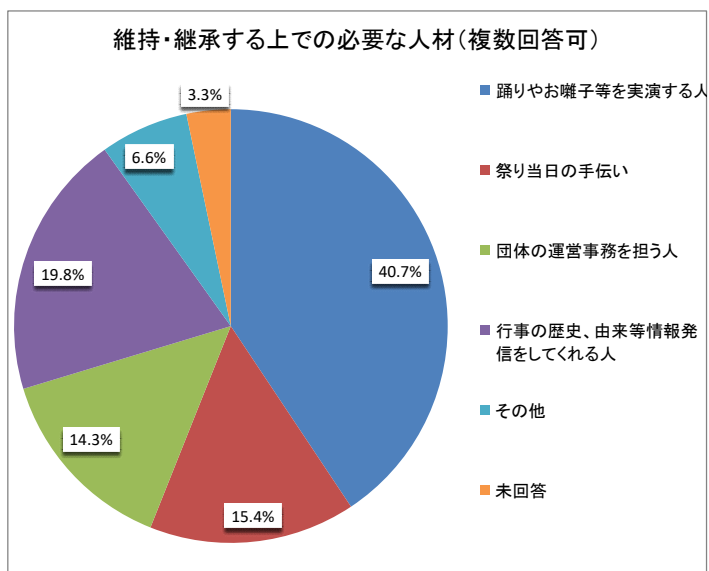
	計	うち国指定	うち県指定
踊りやお囃子等を教えら れる人の維持	20	6	14
少子化による地元での担 い手の確保	38	13	25
行事の開催費、道具修繕 等維持費の確保	21	7	14
行事に関心を持ってくれ る若い世代が少ない	21	4	17
その他	7	3	4
未回答	1		1
合計	108	33	75



・団体会員の高齢化や、後継者となる若者の県外流出などにより、維持・継承する上での担い手確保が厳しい状況である。

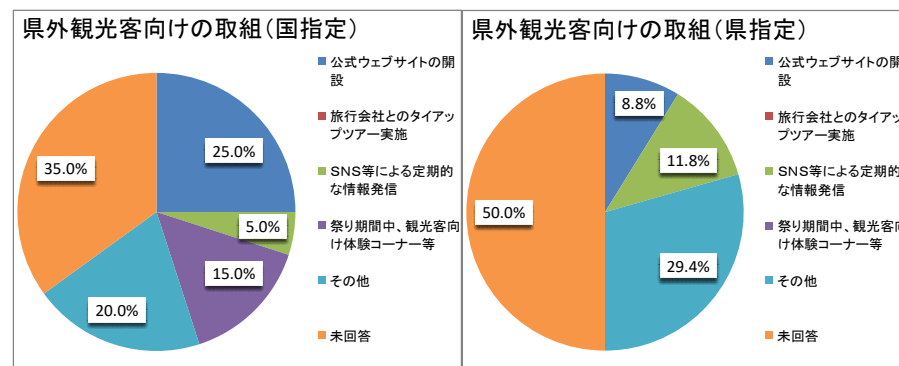
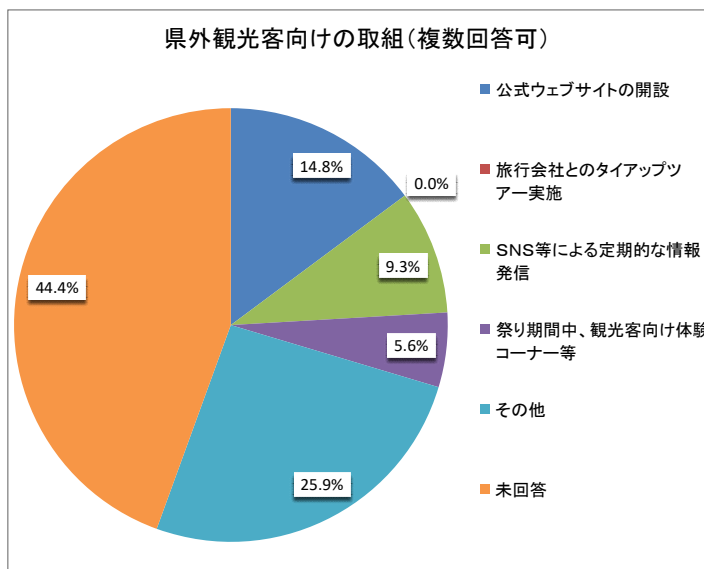
4 維持・継承する上での必要な人材(複数回答可)

	計	うち国指定	うち県指定
踊りやお囃子等を実演する人	37	12	25
祭り当日の手伝い	14	6	8
団体の運営事務を担う人	13	7	6
行事の歴史、由来等情報発信をしてくれる人	18	7	11
その他	6	3	3
未回答	3	1	2
合計	91	36	55



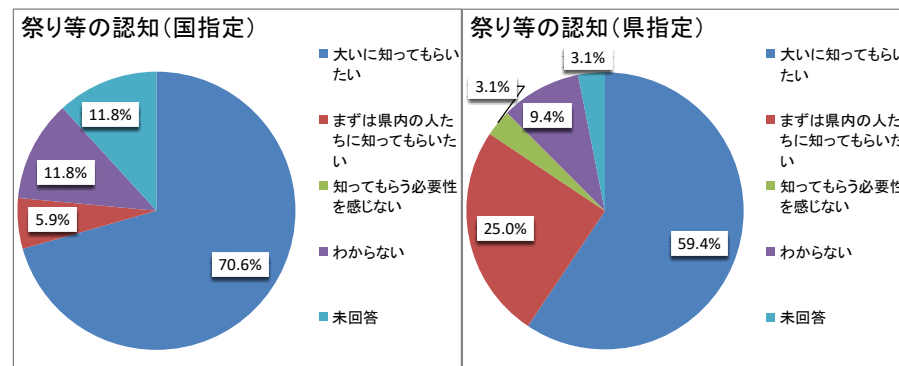
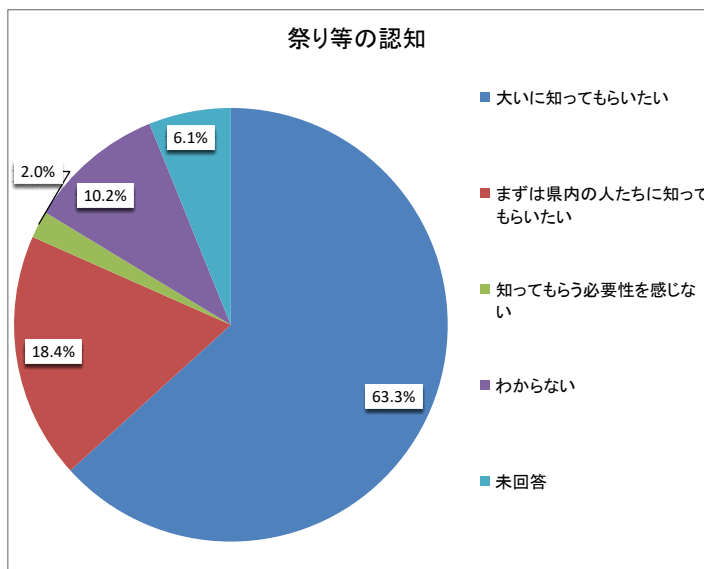
5 県外観光客を意識した取組(複数回答可)

	計	うち国指定	うち県指定
公式ウェブサイトの開設	8	5	3
旅行会社とのタイアップツアー実施	0		
SNS等による定期的な情報発信	5	1	4
祭り期間中、観光客向け体験コーナー等	3	3	
その他	14	4	10
未回答	24	7	17
合計	54	20	34



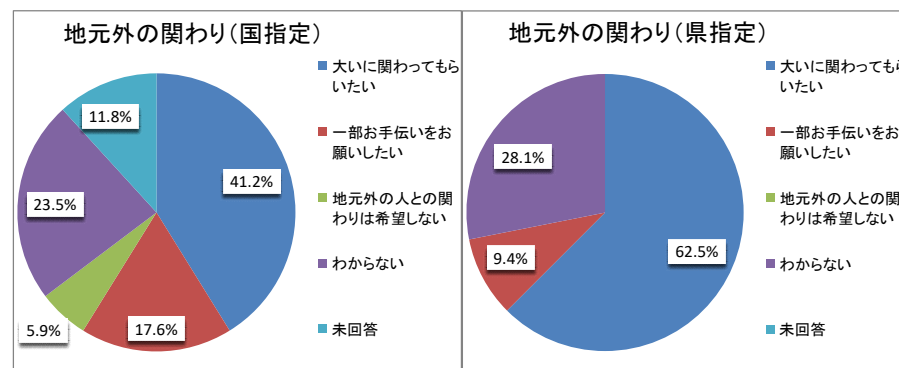
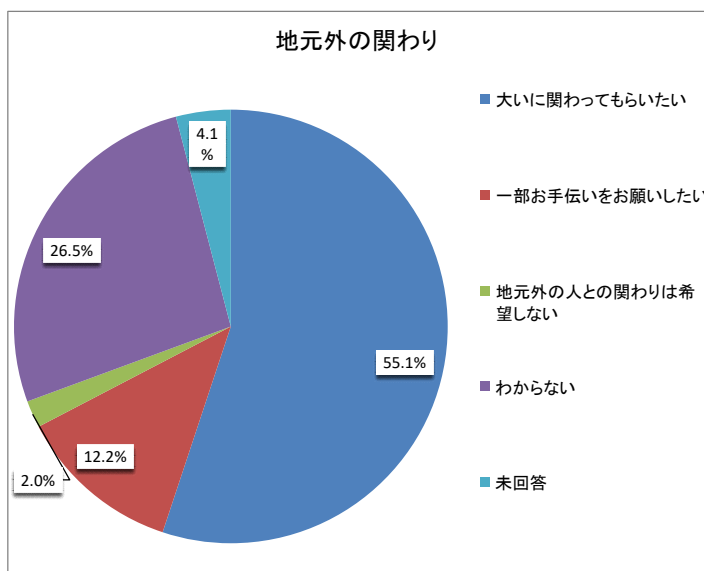
6 自分たちの祭り、行事を県内外の人達に知ってもらいたい

	計	うち国指定	うち県指定
大いに知ってもらいたい	31	12	19
まずは県内の人たちに知ってもらいたい	9	1	8
知ってもらう必要性を感じない	1		1
わからない	5	2	3
未回答	3	2	1
合計	49	17	32



7 維持・継承にあたっての地元外の人たちの関わり

	計	うち国指定	うち県指定
大いに関わってもらいたい	27	7	20
一部お手伝いをお願いしたい	6	3	3
地元外の人との関わりは希望しない	1	1	
わからない	13	4	9
未回答	2	2	
合計	49	17	32



・希望する手伝い
楽人、舞人、裏方、踊り、笛 などの回答があった。